

私は、学校推薦型選抜で和歌山大学観光学部に合格しました。そこで、私が志望校を目指した経緯や受験期の過ごし方についてお伝えしたいと思います。

高校1年生の時に「夢ナビ」で和歌山大学の講義動画を視聴し、観光学に興味を持つと同時に、この大学への進学を志すようになりました。高校2年生の夏にはオープンキャンパスにも参加し、実際の大学の雰囲気を感じることができ、より一層「ここに行きたい!」という気持ちが強くなりました。私は比較的早い時期から進路について調べていたため、目標が明確になり、今やるべきことを見通しやすくなりました。進路に悩むのは当然のことですが、焦らずに、早いうちから情報収集をしておくことをおすすめします。私が推薦入試を意識し始めたのは、高校2年生の頃でした。「何か自分の強みになることをしたい」と考え、探究活動に力を入れることにしました。グループでの探究活動では、自分から積極的に発言し、「質より量」を意識して多くの提案をしました。その結果、先生方のサポートもあり、「マイプロ」への参加が実現しました。また、個人の活動としてオンラインでワークショップを企画・運営し、多くの人と関わる機会を得ました。これらの経験を通して、自分のやりたいことを実現する力や行動力が身についたと感じています。1・2年生のうちに勉強以外のことにも取り組み、自分の強みを見つけてほしいです。部活動を引退してからは、共通テストに向けた勉強に本格的に取り組みました。放課後は完全下校時刻まで学校に残って勉強し、周りの友達も一緒に頑張っている環境だったので、集中して取り組むことができました。また、苦手な数学は友達や先生にたくさん質問することを意識し、疲れを感じた時は好きな世界史の勉強に切り替えてリフレッシュするようにしました。自分に合った勉強法を早いうちから見つけ、実践してみてください。

最後に、受験期は本当にあっという間でした。この期間は大変でしたが、頑張り続けたことで「計画を立てる力」や「最後まで諦めない力」が身につきました。受験は学力だけでなく、自分自身を成長させてくれるものでもあります。壁にぶつかることは、それだけ本気で頑張っている証拠です。ぜひ自分を信じて、最後まで Finish strong で頑張ってください! 応援しています。